

# 議長あいさつ



議長

## 西村 忠

旧岸本・溝口両町が合併して「共生と交流の町」伯耆町が誕生いたしました。合併して二十八名でスタートしました議会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

振り返ってみますと、旧両町の議会で市町村合併の気運が高まりましたのは、平成十四年の後半からでありました。

国立公園大山や日野川など自然環境を共有し、財政規模、人口、産業などがにかよった、旧岸本・溝口両町の合併が最適と判断し、平成十五年三月両町議会で合併協議会の設置について議決以来、およそ二年間をかけた二十六回の合併協議会で協議を重ね、本年一月一日伯耆町が誕生いたしました。

今日まで、旧両町の五十年の長きにわたり培われた、歴史や文化・伝統を十分に生かしながら、町民一人ひとりがそれぞれの立場で主役となり、活気

あふれる町づくりに努めなければなりません。

昨年は、合併協議が進む中、一方では三位一体の改革を通じて全国の地方自治体が結了した年でありました。今、地方が直面している少子・高齢化や、多様化する住民ニーズ、分権型社会の推進、市町村の財政を支えてきた地方交付税制度の激変への対応は、合併によって自主財源の確保と安定化を図り、足腰の強い財政基盤を作ると共に、簡素で効率的な行政運営が、これまでに増して重要になって参ります。

さて、伯耆町の町づくりの理念であります「森と光がおりなすうるおいの町、共生と交流の伯耆町」の具体化にむけて努力しなければなりません。三月定例議会も無事終了し伯耆町新年度の事業の方向づけがされました。これまで合併にあたりご尽力頂きました多くの皆様に感謝申し上げます、一日も早く新町の一体感ができ、合併の成果があがるようお願い申し上げます。

私ども議会と致しましても、町民の皆様のを対しまして、よりきめこまやかな住民サービスをはじめ揺るぎない町政発展の為、努力して参りたいと存じます。町民のみなさまをはじめ、関係機関のより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成17年度施政方針

## 新町の行政体制の確立と効率的な行財政システムの構築 まちづくり計画の推進と 新町の基盤づくりに取り組む

十七年度施政方針にあたっては、義務的経費、継続建設事業費、住民生活に直結した現制度の継続性の維持に努める一方、地方分権の体制整備費、少子高齢化対策費、心身に障害のある方への措置費などの福祉の向上に配慮するとともに、行政のIT化の推進、生活関連資本の整備・拡充などの課題へ予算措置をした。



新町の抱負を語る住田町長

### 重点施策の主な内容

#### ◎住民参画と協働への体制整備

住民活動推進課を核にシステムの構築や協働する方法を検討し各種の計画策定・立案にあたり住民の方の参画を進めたい。

#### ◎行政等の情報化及び情報公開の推進

行政内部や施設間のLANの拡充を図るとともに、町のホームページ、CATV、広報誌の内容を充実し、より大量の行政情報の提供を図りたい。

#### ◎健康の増進と福祉施策の充実

各種検診の受診の奨励、関係機関と連携した健康診査の啓発、健康教育、健康相談、年齢に応じた健康スポーツの振興などを進めたい。

#### ◎環境対策の推進

循環型社会を進めていくため、廃棄物の発生抑制、リサイクルの啓発促進を更にすすめる、自然と共生していくための地域づくりを図りたい。

#### ◎教育環境の整備

住民の学習成果をまちづくりに活かす「生涯学習によるまちづくり」の推進へと施策の転換を図る。

青少年の心の教育の充実と青少年町民会議の活性化を推進する。

#### ◎防災体制の整備

地域の防災力を高めるために消防団の活性化や自主防災組織の育成を進め防災意識の高揚を図り、伯耆町地域防災計画の策定をする。

#### ◎道路整備の推進

#### ◎産業の振興

#### ◎国・県営事業の推進